

熊本県の農林水産業の概要

特徴・取組

熊本県は、世界最大級のカルデラを有する阿蘇や、美しい島々からなる天草に代表される素晴らしい自然にあふれており、阿蘇山、九州山地に源を発する菊池川（きくちがわ）、球磨川（くまがわ）などの一級河川や豊富な地下水など、水資源にも恵まれている。

また、三方を山に囲まれているため、天草地方を除いて、全体的に内陸性気候であり、年平均気温は熊本市で17℃前後、阿蘇地方で13℃前後、年間降水量は平地で約1,700mm、山地で約2,300mmとなっている。

さらに、日本最大の干潟を有する有明海、内湾で東シナ海に湾口を開く八代海、対馬暖流に面する天草灘の3海域を有している。

産業構造は、県内総生産（令和2年度：6兆1,051億円）を産業別にみると、第1次産業が1,779億円（2.9%）、第2次産業が1兆7,256億円（28.3%）、第3次産業が4兆1,567億円（68.1%）となっている。

豊かな自然の恵みを背景に、農業では、米・野菜・果樹・畜産をはじめ多彩な農畜産物が、林業では、すぎやひのきの木材や、しいたけなどの特用林産物が生産されている。水産業では、3海域の特徴を活かした養殖業や、漁船漁業が盛んに行われている。

農業就業人口は、全国と同様に高齢化等により減少する中、新たな担い手となる新規就農者の就農形態は、親元就農、新規参入や、農業法人への雇用就農など多様化している。

これらに対応するため、県では、第一線で活躍する農業経営者・学識経験者らが講師となり、次世代の農業を担う農業者を育成するための「くまもと農業経営塾」や、最新の農業知識や農業技術等をテーマにした学びの場である「くまもと農業アカデミー」を開催し、担い手の育成を図っている。

P・Q・C（P（価格）×Q（量）－C（コスト））の最適化による所得向上のため、高品質化、生産安定、コスト削減の取組と併せて、広域農場（メガ法人）の育成や農地集積などを推進している。また、平坦地と比較して生産条件に恵まれていない中山間地域における農地集積への支援、きめ細やかな基盤整備、小面積でも農業所得を確保できる施設園芸や商品性の高い品目の導入など収益の柱となる農産物の生産を推進し、「稼げる農業」の更なる加速化へ向けて取り組んでいる。

主な農林水産物

米

西日本有数の米生産県であり、平成30年本格デビューの「くまさんの輝き」「森のくまさん」などの特色ある米を生産。

（収穫量全国16位）



い（い草）

県オリジナル品種「涼風」等を育成。平成28年2月に「くまもと県産い草」、「くまもと県産い草畳表」はG I登録。（収穫量全国1位）



すいか

促成栽培により、全国に先駆けて出荷。熊本、鹿本菊池、上益城が主な産地。

（収穫量全国1位）



トマト

八代・玉名の冬春トマト阿蘇・上益城の夏秋トマトなど、地勢や気象条件を活かして周年生産。

（収穫量全国1位）



みかん

海岸島しょ地域の気候を活かし、県独自品種を含めたりレー出荷を実施。

（収穫量全国4位）



不知火類（登録商標：デコポン）

皮がむきやすく食味が良い柑橘類。県独自品種「肥の豊（ひのゆたか）」の導入により品質向上。

（収穫量全国1位）



肉用牛

黒毛和種、褐毛和種（あか牛）、交雑種など多彩な肉用牛を生産。平成30年9月には「くまもとあか牛」がG Iに登録。

（飼養頭数全国4位）



宿根かすみそう

菊池、宇城、天草で栽培が盛ん。全国有数の生産量を誇り、冠婚葬祭等のニーズに対応。

（出荷量全国1位）



木材（すぎ・ひのき）

育苗技術を活かして県下一円で植栽。

（すぎ：素材生産量全国6位）（ひのき：素材生産量全国4位）



まだい・くるまえび（養殖）

温暖な気候を活かした海面養殖業が盛ん。

（まだい：収穫量全国2位）（くるまえび：収穫量全国2位）



熊 本 県 の 農 業 (1)

- ・ 耕地面積は10万4,300haで全国14位。うち田が6万4,000ha、畑が4万300ha。
- ・ 農業経営体数は3万3,952経営体で全国9位。うち法人経営体が1,077経営体で5位。
- ・ 認定農業者数は9,906経営体で全国3位。うち法人数が1,098法人で4位。

耕地面積

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
耕地面積	104,300 ha	4,297,000 ha	14
田	64,000 ha	2,335,000 ha	13
畑	40,300 ha	1,962,000 ha	8
普通畑	22,400 ha	1,120,000 ha	14
樹園地	12,600 ha	253,500 ha	6
牧草地	5,220 ha	589,000 ha	6
参考) 総土地面積	740,918 ha	37,797,539 ha	15

出典: 「令和5年耕地面積(7月15日現在)」、「令和6年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	11,921 ha	253,217 ha	6

出典: 「令和4年度の荒廃農地面積(令和5年3月31日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	55,111 ha	2,573,672 ha	11
集積率	52.0 %	59.5 %	16

出典: 「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和4年度版)」

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方
 ・令和6年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用
 ・表中に使用した記号は次のとおり
 「O」: 単位に満たないもの(例: 0.4t→0t)
 「-」: 事実のないもの
 「…」: 調査を欠くもの
 「x」: 秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。
 「*」: 秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
農業経営体数	33,952 経営体	1,075,705 経営体	9
法人経営体	1,077 経営体	30,707 経営体	5
総農家数	47,879 戸	1,747,079 戸	13
販売農家	32,529 戸	1,027,892 戸	8
参考) 世帯総数	719,154 世帯	55,830,154 世帯	24
集落営農数	391 集落営農	14,204 集落営農	16

出典: 「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和5年集落営農実態調査結果(令和5年2月1日現在)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	51,827 人	1,363,038 人	4
男	30,444 人	822,144 人	4
女	21,383 人	540,894 人	5
65歳以上	31,780 人	948,621 人	7
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	61.3 %	69.6 %	-
認定農業者数	9,906 経営体	219,846 経営体	3
法人数	1,098 法人	28,720 法人	4
参考) 総人口数	1,738,301 人	126,146,099 人	23

出典: 「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和5年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

熊 本 県 の 農 業 (2)

- ・農業産出額は3,512億円で全国5位。うち野菜が1,248億円(35.5%)、果実が362億円(10.3%)、畜産が1,323億円(37.7%)。
- ・農畜産物の生産状況は、トマト、すいか、宿根かすみそう、い(い草)、シラヌヒが全国1位、なす、メロンが2位。
- ・農業生産関連事業は、農産加工の年間販売(売上)金額が417億円で全国7位、事業体数は660事業体で18位。

農業産出額

区 分	熊本県	全国	全国順位
農業産出額	3,512 億円 (100.0)	90,015 億円 (100.0)	5
米	277 億円 (7.9)	13,946 億円 (15.5)	17
麦類	9 億円	647 億円	9 *
雑穀	1 億円	83 億円	17
豆類	6 億円	715 億円	20
いも類	62 億円	2,199 億円	8
野菜	1,248 億円 (35.5)	22,298 億円 (24.8)	4
果実	362 億円 (10.3)	9,232 億円 (10.3)	7
花き	107 億円	3,493 億円	10
工芸農作物	73 億円	1,551 億円	5
その他作物	26 億円	607 億円	6 *
畜産	1,323 億円 (37.7)	34,678 億円 (38.5)	6
肉用牛	452 億円	8,257 億円	4
乳用牛	332 億円	9,013 億円	3
生乳	299 億円	7,916 億円	3
豚	265 億円	6,713 億円	10
鶏	238 億円	9,716 億円	17
鶏卵	100 億円	5,638 億円	22
ブロイラー	114 億円	3,940 億円	6 *
その他畜産物	36 億円	979 億円	3
加工農産物	19 億円	565 億円	6

出典:「令和4年生産農業所得統計」

注:()は農業産出額を100%とした割合である。

農畜産物の生産状況

区 分	年次	熊本県	全 国	全国順位
水稲	収穫量	R5 155,400 t	7,165,000 t	16
トマト	収穫量	R4 130,300 t	707,900 t	1
なす	収穫量	R4 33,400 t	294,600 t	2
メロン	収穫量	R4 24,400 t	142,400 t	2
すいか	収穫量	R4 48,000 t	315,900 t	1
みかん	収穫量	R5 80,600 t	681,600 t	4
宿根かすみそう	出荷量	R4 17,800 千本	45,800 千本	1
肉用牛	飼養頭数	R5 139,100 頭	2,687,000 頭	4
い(い草)	収穫量	R5 5,440 t	- t	1
シラヌヒ	収穫量	R3 10,614 t	36,596 t	1

出典:「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産統計」、「特定作物統計」、「特産果樹生産動態等調査」

農業生産関連事業の年間販売(売上)金額及び事業体数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	41,736 百万円	1,012,818 百万円	7
	事業体数	660 事業体	28,980 事業体	18
農産物直売所	総額	42,908 百万円	1,087,897 百万円	6
	事業体数	570 事業体	22,380 事業体	16
観光農園	総額	392 百万円	35,999 百万円	26
	経営体数	50 経営体	5,090 経営体	26
農家民宿	総額	35 百万円	4,565 百万円	25 *
	経営体数	20 経営体	1,170 経営体	16 *
農家レストラン	総額	1,071 百万円	35,236 百万円	12 *
	事業体数	40 事業体	1,330 事業体	7 *

出典:「令和4年度6次産業化総合調査結果」

熊 本 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は181.9億円で全国8位。うち木材生産が159.9億円、栽培きのご類生産が20.4億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国7位、ひのきが4位、すぎが6位、竹材が2位、黒炭、乾しいたけが3位、たけのこが4位。

林業産出額

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
林業産出額	181.9 億円	5,806.6 億円	8
木材生産	159.9 億円	3,604.6 億円	6 *
栽培きのご類生産	20.4 億円	2,079.5 億円	23

出典：「令和4年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
素材生産量	957 千m ³	22,082 千m ³	7 *
針葉樹	935 千m ³	20,386 千m ³	7
すぎ	720 千m ³	13,238 千m ³	6
ひのき	215 千m ³	2,971 千m ³	4
広葉樹	22 千m ³	1,696 千m ³	15 *
竹材	生産量 138 千束	828 千束	2
たけのこ	生産量 1,482 t	21,798 t	4
黒炭	生産量 409 t	3,952 t	3 *
乾しいたけ	生産量 209 t	2,034 t	3

出典：「令和4年木材需給報告書」、「令和4年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
林野面積	466,250 ha	24,770,201 ha	18
国有林	62,968 ha	7,153,338 ha	17
民有林	403,282 ha	17,616,863 ha	18
人工林面積	278,846 ha	10,133,111 ha	9

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
工場数	127 工場	3,804 工場	7
製材用素材の入荷があった工場数	127 工場	3,778 工場	7
国産材のみ	126 工場	3,054 工場	4
国産材と輸入材	1 工場	560 工場	37

出典：「令和4年木材需給報告書」

林業経営体数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,255 経営体	34,001 経営体	7
法人経営体	110 経営体	4,093 経営体	12

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

熊 本 県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は372億円で全国13位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のたちうおが全国2位、このしろが3位、海面養殖業のまだい、くるまえびが2位。
- ・ 漁業生産関連事業は、水産加工の年間販売（売上）金額が32億円で全国14位、事業体数は60事業体で6位。

漁業産出額

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	372 億円	14,372 億円	13

出典：「令和4年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	2,829 経営体	79,067 経営体	9
内水面漁業経営体数	71 経営体	4,772 経営体	19

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	5,392 人	151,701 人	9
男	4,195 人	134,186 人	11
女	1,197 人	17,515 人	5

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
漁船隻数	4,800 隻	132,201 隻	11
動力漁船	2,591 隻	69,920 隻	10

出典：「2018年漁業センサス(平成30年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	65,654 t	3,862,831 t	16 *
海面漁業漁獲量	13,070 t	2,950,992 t	31
このしろ	398 t	3,034 t	3
たちうお	728 t	6,850 t	2
海面養殖業収穫量	52,584 t	911,839 t	8 *
まだい	10,141 t	68,088 t	2 *
くるまえび	248 t	1,198 t	2 *
内水面漁業・養殖業生産量	392 t	54,115 t	19 *
内水面漁業漁獲量	38 t	22,612 t	23
あゆ	22 t	1,776 t	12
内水面養殖業収穫量	354 t	31,503 t	14 *
うなぎ	176 t	19,167 t	8 *

出典：「令和4年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	熊 本 県	全 国	全国順位	
水産加工	総額	3,239 百万円	181,820 百万円	14 *
	事業体数	60 事業体	1,460 事業体	6 *
水産物直売所	総額	326 百万円	37,410 百万円	25 *
	事業体数	20 事業体	840 事業体	12 *
漁家民宿	総額	24 百万円	5,986 百万円	28 *
	経営体数	10 経営体	740 経営体	15 *
漁家レストラン	総額	620 百万円	11,598 百万円	9 *
	事業体数	10 事業体	420 事業体	9 *

出典：「令和4年度6次産業化総合調査結果」

熊本県の農林水産業の話題等

熊本地震および令和2年7月豪雨からの復旧・復興状況

【熊本地震】平成28年4月発生

農地や営農施設の復旧により、全体4,923件のうち、大切畑ダムの復旧を除いて、令和4年度末に全て完了。

現在は、担い手への農地集積、高収益作物の導入など、新たな芽吹きによる地域農業の再生を目指し、令和4年度に立野地区（南阿蘇村）の基盤整備に着手、令和5年度からは区画整理工事に着手することとしている。

また、地表に断層が出現した大切畑ダム（西原村）の復旧工事について、取水トンネル工、仮排水トンネル工が竣工し、現在、ダムの本体工事中で令和8年度供用開始を目指している。

【令和2年7月豪雨】

「令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン」では、新たな治水の方向性を踏まえた治水・防災対策や、被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興を目指し、直ちに実施する喫緊の取組と、5年、10年先を見据えた持続可能な地域の実現に向けた将来ビジョンを示している。農林水産関連では、地域と連携した「田んぼダム」の推進、山地災害の早期復旧と治山施設の整備、多様で健全な災害のリスクを低減させる森林づくりなどを進めている。

半導体拠点推進調整会議を設置

TSMC（半導体企業）進出に伴う土地利用調整にあたり、農振除外を伴う開発案件については、企業進出やそれに伴う住宅団地の整備を迅速かつ円滑に進めるとともに、農業振興と企業進出の両立を図る必要がある。

県では、市町村が行う土地利用調整を支援することで、農用地の集団化や農業の効率化に支障がないよう、進出企業や住宅を集約・誘導することを目的として、半導体拠点推進調整会議を設置し、令和4年12月に第1回会議を開催した。

熊本県農林水産物等の輸出実績が過去最高を更新

多くの国や地域での経済活動の回復を背景に、台湾でのトップセールスや海外小売店での「熊本フェア」などを実施し、積極的に販路拡大に取り組んだ結果、令和4年度の輸出額は初めて100億円を超え、105億円となり過去最高となった。

品目別にみると、台湾、香港向けのいちご、中国向けの丸太、アジア向けのマダイが大幅に増加している。



大切畑ダムの復旧状況



第1回半導体拠点推進調整会議



香港でのいちごフェア